



高校入試もいよいよ始まりました

前号で大学入学共通テストが実施され、いよいよ大学受験シーズが始まったと書きましたが、現在は3年生は首都圏や関西地方などの私立大学入試に臨んでいます。また、2月下旬から行われる国公立大学の個別学力検査（2次試験）に備えて、特別補習授業に出席している生徒もいます。

そんな中、2月1日（木）には「令和6年度入学者前期選抜」が県内一斉に実施されました。本校の理数科でも行われ、28名の募集枠に対して40名の志願者がありました。当日の朝、保護者などに見送られながら受付をした後、緊張した面持ちで校内に入り、全体説明の後、面接試験に臨みました。合格発表は2月9日（金）です。また、後期選抜試験は2月20日（火）から22日（木）が志願受付、志望変更期間を経て、3月6日（水）が試験日となります。インフルエンザや新型コロナの感染にも十分注意しながら、あと1カ月余りに迫ったと後期選抜試験に向けて頑張ってもらいたいと思います。



県代表として全国大会へ

以前にも、本校の2年生の宮下あかりさんと村澤春風さんが、「探究的な学習の時間」の一環として、飯田の伝統工芸である『飯田水引』によって、飯田下伊那地域を活性化しようとするプロジェクトをおこなっていることを紹介しましたが、1月27日（土）に長野市で開催された「マイプロジェクトアワード 2023 長野県 Summit」に参加し、2人が発表した『高校生×伝統工芸の輪で飯田に賑わいを創ろう』が県知事賞を受賞しました。



3月22日～24日東京で行われる全国大会に長野県代表して参加することになりました。彼女らの取組を最初から注目していましたが、発表を重ねるたびに内容が深くブラッシュアップされるとともに、プレゼンのレベルも非常に洗練されてきたことには驚いています。学校内外や日常の様々な課題に対して、高校生が主体となり、様々な方々にも協力してもらいながら課題を解決していく姿はとても貴重なものであり、これからの社会を切り拓いていくためにはとても重要な学びであると思っています。

